

47 ナギツボ

(イソコハクガイ科)

兵庫県ランク:A

Vitrinella sp.

環境省ランク:NT

種の概要

伊豆半島、浜名湖、英虞湾、紀伊水道、瀬戸内海、九州西岸で分布が知られ、内湾湾口部の海岸礫地で砂中に半ば埋もれた転石下の還元的な環境に生息する。また、内湾奥部や河口汽水域の泥底や軟泥干潟に深く埋もれた石の下にも生息する。殻長1.5mm前後の卵形をし、軟体は長い後足触角をもつ。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○		○	○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。洲本市の内湾最奥部にある船溜まりの一面海藻に被われた泥底で確認されたが、個体数は非常に少ない。泥底内部は黒く、硫化水素の臭気をする還元状態の特異的な環境である。カクメイ属の一種やガラスシタダミ科の一種、ヌカルミクチキレ(いずれも貝類Aランク)などと同所的に産する。

保護上の留意点

内湾奥部の還元水域にある泥底は、自然由来と人為的なものが存在するが、ここに本種などが生息するかどうかは、かなり際どい。既知産地は人為的影響の強い場所であるが、ほかに産地が見出されない現状では、既知産地を保全するしかない。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修



【執筆者】 川渕千尋